

稲武「古橋クリニック」さん、電力を切り替えて頂きました！

稲武の住民にとっていざという時の頼みの綱「古橋クリニック」さん。地元で安心をもたらしている地域の診療所です。古橋義人院長は、岡崎の病院で産婦人科の医師として勤めていましたが、40代で改めて内科や小児科の研修を受けて稲武に戻り、2000年から今の診療所を続けています。いつも院長の笑顔の奥に「古橋家」の志を感じてなりません。



300年以上も稲武のまちづくりに代々貢献し続けている古橋家。日本中を苦しめた「天保の大飢饉」の際に、今の豊川にあった役所に出向いて、米穀の支給と年貢の大幅減を懇願し、それを果たしました。それもあって稲武村では一人の餓死者も出なかったという話は、地元でよく耳にするところです。

その後も強い村づくりのためにと、100年計画で村人たちと植林を進めたり、いずれ来るであろう飢饉（自然災害）に対しての「備えの大切さ」を広めたり… さらに、お茶の栽培や養蚕・製糸といった地域の生業づくり、学校や保育園、伊勢神遷拜所の建設、近年では稲武から名古屋の高校や大学に進む学生のために学生寮を開設支援したりと、ここだけでは到底書ききれないほどです。

古橋家の家訓は「家は徳に栄える」「富家より富村」「共存共栄」。MYパワーも「地域のために」「徳を積み」「たすけあいの心」を大切にしながら、山村地域の発展に尽くし続けていきたいです。（エネルギー事業部：庄司）

メンバー紹介 ② 田舎で仕事ができる有難さ 関原 康成（事業本部長）

1年半前に名古屋から妻と息子（当時中学2年）の3人で、足助の萩野地区の竜岡町に移住しました。「自然の中で暮らしたい」「田舎で仕事がしたい」など様々な家族の想いと、土地を提供していただいた地域の方の想いがあった実現しました。

移住するのとほぼ同時期に新型コロナが流行し、私は在宅中心の仕事になりました。引越した当初は、週に何日かは名古屋に仕事で行かなければならないと思っていた私にとって、コロナ禍で自然の中で伸び伸びと仕事ができるという理想的な状況が生まれ、このような環境で仕事ができることの有難さを感じました。

MYパワーは「関わる皆さんの想いや夢を形にする鍋」でありたいと考えています。これからも地域の皆さんと一緒に、地域の課題解決や夢の実現に向けて努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

（事業本部／エネルギー事業部 他：関原）



◆ 編集後記～ とても長い梅雨も明けて、「草刈りの夏」が始まります！冒頭下の西川さんの「スタッフひとこと」にもありましたが、実のところ私の車も草刈りで「2回」リアガラスが粉々に（苦笑）… 飛び石と日射病に気をつけて、刈り終わったきれいな山里の風景と、シャワー後の一杯を楽しみましょう！（経営企画部／広報担当：庄司）



株式会社 三河の山里コミュニティパワー

〒444-2351 愛知県豊田市岩神町仲田20 足助病院内（サテライト・サロン）

Tel.0565-61-2773（たすけあいプロジェクト事務局） Fax.0565-61-2772

http://www.my-power.jp E-mail:info@my-power.jp

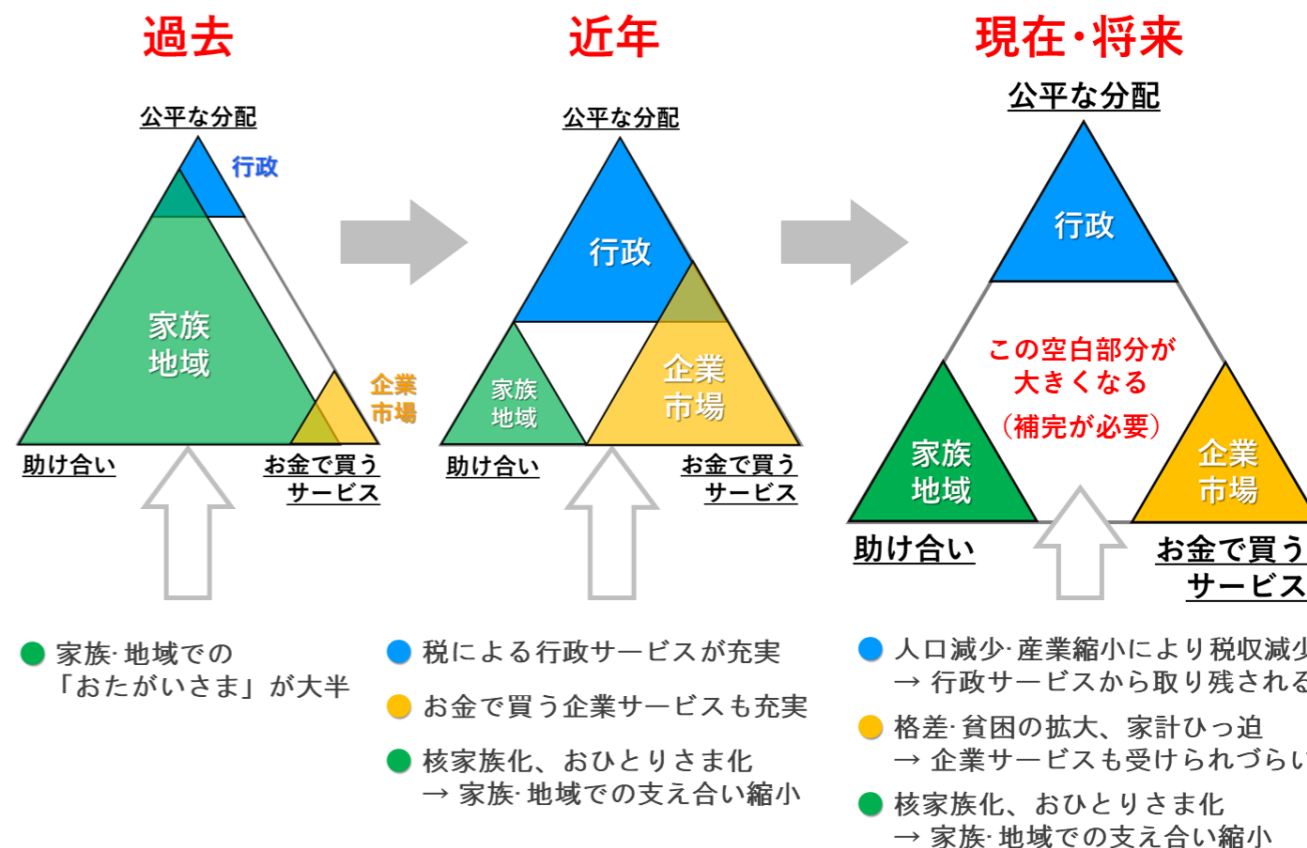


三者の「すきま」を埋める ～「つなぐ」と「補完」とは？～

MYパワーは地域の人たち、行政、企業の「すきま」を埋める役割を目指しています。地域の課題は多様で、地域の人たちだけで解決が難しいことがあります。同じく行政でも解決できない、企業でも解決できないことも数多くあります。図にあるように、今後この解決できない領域＝「すきま」がますます広がっていくと考えています。

この広がっていく穴を誰かが埋めていく必要があります。1人で無理なら、3人でやってみよう。地域でムリ、行政でムリ、企業でムリでもみんなで力を合わせてみようということを考えました。大切なことは地域の得意なこと（地域でできること）、行政が得意なこと、企業が得意なことはそれぞれ違うということです。お互いのことをよく理解し、尊敬できる関係が取れるかが大切です。

もうひとつ大切にしていることは「補完」という考え方です。前号（2021.5.25発行号）でお伝えしたように、MYパワーは「地域の人たちの手で」地域のことをしていただきたいと考えています。MYパワーはそのことを全力で後押ししていきます。同じように行政、企業に対してもです。それが「つなぐ」「補完」ということです。ある意味「つなぐ」ことと「補完」以外何もしない会社でありたいと思っています。（経営企画部：萩原）



スタッフのひとこと

MYパワーで働くようになって半年、「地域を元気に」をモットーに頑張っています。先日草刈り中に、小石が飛んで車のリアガラスが割れてしまいました。田舎あるあるですね（笑）夏到来！皆さんもお気をつけ下さい。（西川）

たすけあいカー・ドライバーさんを表彰！

たすけあいカーのボランティアドライバーとして200回以上活動されている安藤さん、築井さんに、「たすけあいプロジェクト運営協議会」（会長：太田稔彦・豊田市長）より感謝状が贈呈されました！（*）

お二人ともたすけあいカーが始まった2016年から活動を続け、地域高齢者の安心・安全な移動を支えてくださっています。事務局スタッフも特にお二人には足を向けて寝られないとても心強い存在です。

もちろんお二人だけではなく、たすけあいカーは多くのボランティアドライバーさんのサポートがあって成り立っています。これからも地域のみなさんにご協力いただき、たすけあいカーが根付いていけたらと思います。… 最近は大きな声が出せませんので、大きな字で！！



ボランティアドライバーのみなさん、いつもありがとうございます。

* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため「たすけあいプロジェクト運営協議会」が書面決済となり、感謝状は同協議会 副会長の早川代表より贈呈いたしました。（たすけあい事業部：浦野）

地域の足をまもる「日の出タクシー」さん



地域のタクシー会社の「日の出タクシー」さんをご紹介します。

MYパワーでは、高齢者の移動の課題を解決するべく、ボランティアドライバーさんによる「たすけあいカー」という事業を運営しています。「たすけあいカー」の今後の在り方を考えて行く上で、様々な交通事業者の方とお話をして、今後のあるべき姿について話し合う「地域交通勉強会」を開催しています。

日の出タクシーの鈴木義和社長にも、2回ほど参加していただき、いろいろな話をお聞かせいただきました。その中で、印象に残っていることとして、福祉タクシーではないが、**車椅子での乗降**

が出来たり、タクシーでお迎えに行くついでに必要なものを買っていってあげたり、家の電球の取り換えなど困りごと解決も行っていることを知りました。

中山間地域の人口減少により多くの地域でタクシー事業者が撤退していくなか、**社長以下鈴木一家の熱い想いと住民に寄り添ったサービス**で営業を続けています。MYパワーも「日の出タクシー」さんを応援しつつ、**これからの地域の足の問題を考えていきたい**と思います。* 日の出タクシー 0565-62-0064（経営企画部：関原）

夏季休暇のお知らせ

8月 9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	14日(土)	15日(日)
祝日(山の日)	通常営業	通常営業	通常営業	夏季休暇	土曜休日	日曜休日

スタッフのひとこと

6月より入社しました鵜居です。自然豊かな足助の川や山の緑にとっても癒されています。もっと素敵な所も見つけたいです。いつも笑顔を忘れずに、早く仕事に慣れるよう頑張ります！（鵜居）

サロンを応援 「健康寿命を延ばし隊」 結成！

コロナ禍が1年以上も続き、各地区の「地域ふれあいサロン」や体操教室などが中止されており、**高齢者の健康が大変心配な状況**となっています。健康維持には、**食事と運動に加え、社会参加**（サロンなどに出ておしゃべりする）が大切です。足助病院では、感染予防に万全を期して「ロコモ教室」「脳いきいき教室」を再開してまいりましたが、残念ながら参加者は半減しています。

一方、コロナ・ワクチンが実施されています。8月下旬には当地の高齢者のワクチン接種は終了すると考えられます。そこで**各サロンの再構築を目指し、サロンが参加する「健康寿命を延ばし隊」**を結成します（参加人数：合計100名以上）。

■ 各サロンの皆さまへ

足助病院スタッフの派遣により「健康漫談」「お薬の話」「健康体操」「認知予防」「食べ物・調理・栄養学の基礎」「感染予防」「転倒と骨粗しょう症の予防」などの健康講話や実技を提供します。仲間と会って、おしゃべりし、体を動かして、健康に役立つお話が聞ける！ 病院スタッフやスポーツ科学の力を借りて地域が元気になる！ そんなサロン企画を進める「健康寿命を延ばし隊」に参加しませんか！



* 2021年7月から始まる「豊田市官民連携介護予防“ずっとつながるプロジェクト”」（SIB事業）に参加することで諸費用の捻出が出来ますので、**皆さま方の負担はありません**。ただし、**皆さまの継続的な参加（平均月1回以上で6か月以上）**が必要です。

* SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）とは：民間の活力やノウハウを活用し、自治体のコスト/リスクを低減させつつ、持続的に社会課題を解決する手法で、今回は介護予防事業に適用されています。

* 足助病院との交渉や事務的な手続きは、MYパワー事務局の西川が担当します。（たすけあい事業部：早川）

大多賀で田植えスタート！

6月20日（日）、大多賀の休耕田に活気が戻りました。この日は地域全体の草刈り（環境美化）の日。地元の方々と日本福祉協議機構の皆さんとの**はじめての出会いの日**でもありました。

地域の皆さんとまずは一緒に草刈り。そのあと地域の皆さんは草刈り、日本福祉のメンバーだけで田植えに挑戦です。**日本福祉のメンバーは若い人たちばかりで田植えの経験がありません**。頼みの地域の方たちは草刈りでいけません。初動が取れません。そこで一役かったのは、意外にも足助病院名誉院長（MYパワー代表）の早川さんでした。早川さん（70歳）は安城の農家の生まれだったのです。

子どもたちはどろんこ遊びに夢中。**田んぼに楽しい笑い声が吸い込まれていきます**。次の作業は猪と鹿の獣害避けフェンス作りが待っています。（地域課題解決部：萩原）

* 詳しくは日本福祉協議機構のWebサイト「互いの森プロジェクト」（右QRコード）でご覧になれます。



スタッフのひとこと

新人(?)の知念です。夏が始まりますね！ MYパワーも私もアツいです。最近ひのきのカンナくずで「たわし」を作っています。地域の皆さま、これからよろしくお願いします。（知念）